

# 中国産業概観 【中国自動車業界レポート(2025年10月)】

2025年11月

みずほ銀行(中国)有限公司  
中国アドバイザリーパート

MIZUHO

瑞穗银行

## 中国自動車業界レポート(2025年10月)

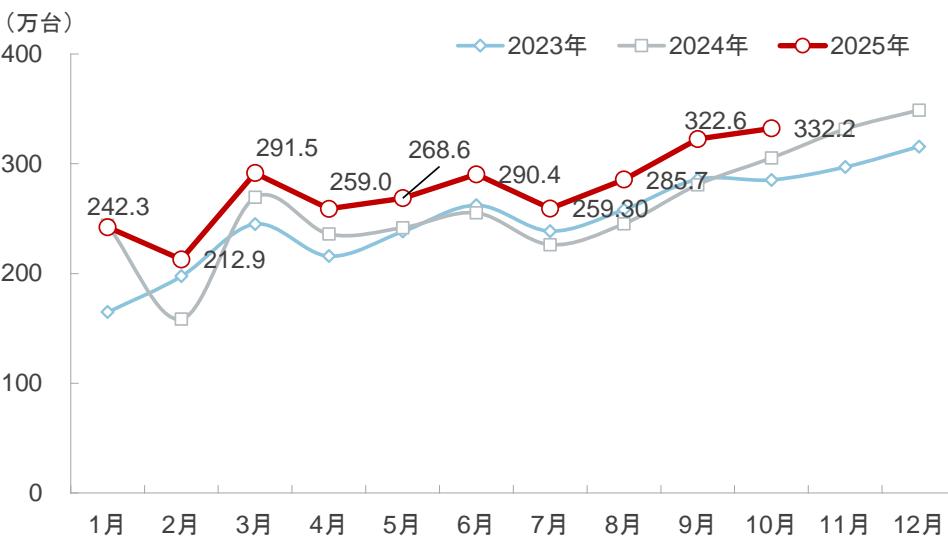
1 自動車販売台数	
1.1 自動車販売台数	2
1.2 乗用車	3-4
1.3 商用車	5
1.4 日系三社	6
1.5 NEV	7-9
1.6 輸出	10
2 在庫	11
3 新発売のモデル	12
4 業界動向	13
5 中古車	14
6 ダブルクレジット政策	15
7 エンボディドAI	16

# 1.1 自動車販売台数

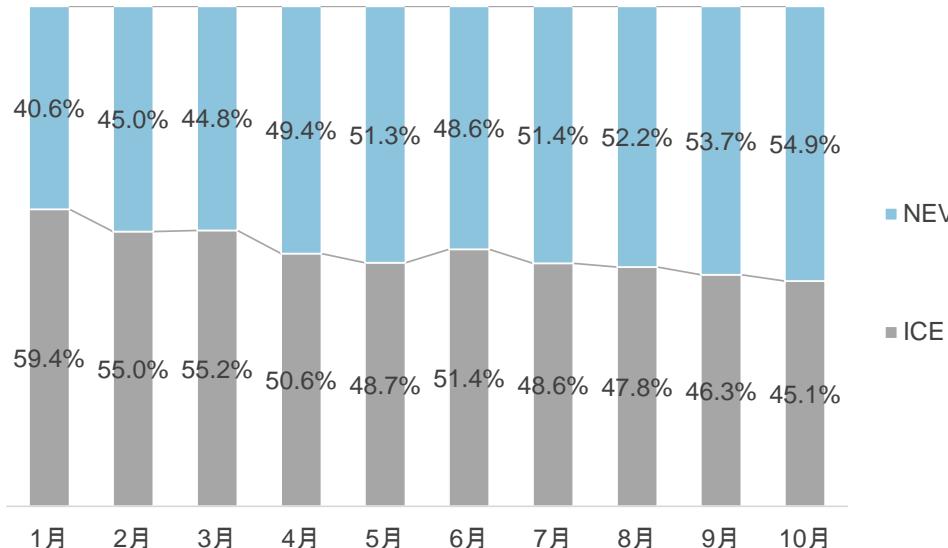
【中国自動車業界レポート(2025年10月)】

- 生産・販売台数:**2025年10月の中国自動車生産台数は前年同月比12.1%増、前月比2.5%増の335.9万台、販売台数は前年同月比8.8%増、前月比3%増の332.2万台と、10月の生産・販売台数は過去最大を記録した。1-10月の生産台数は前年同期比13.2%増の2,769.2万台、販売台数は同12.4%増の2,768.7万台。2026年のNEV購入税の政策調整内容(全免から半免へ)が公になったことと、年末の消費シーズンにより、販売は活発な動きを見せている
  - 乗用車:10月販売台数は前年同月比7.5%増の296.1万台。1-10月の乗用車累計販売台数は前年同期比12.9%増の2,420.9万台
  - 商用車:10月販売台数は前年同月比21%増の36.1万台。1-10月の商用車累計販売台数は前年同期比9%増の347.9万台
- 国内販売のNEV比率:**2025年10月の中国国内のNEV販売台数は145.9万台、国内新車総販売台数の54.9%

中国自動車月度販売台数(2023-2025年)



中国国内自動車販売台数動力別構成比(2025年)



出所:中国汽車工業協会よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザリー部作成

# 1.2 乗用車①

【中国自動車業界レポート(2025年10月)】

## ■ 国内販売台数ランキング

- 2025年10月、乗用車小売台数は前年同月比0.8%減の224.2万台。うちTop10社の小売台数は同6.4%減の138.01万台、CR10は61.4%。伸び幅が最大なのは吉利汽車で同36.8%増、BYDは同31.4%減
- 1-10月販売台数Top10社のうち、伸びが最大なのは吉利汽車で前年同期比56.2%増。一方でBYDはマイナスに転じている

## ■ 資本別構成比

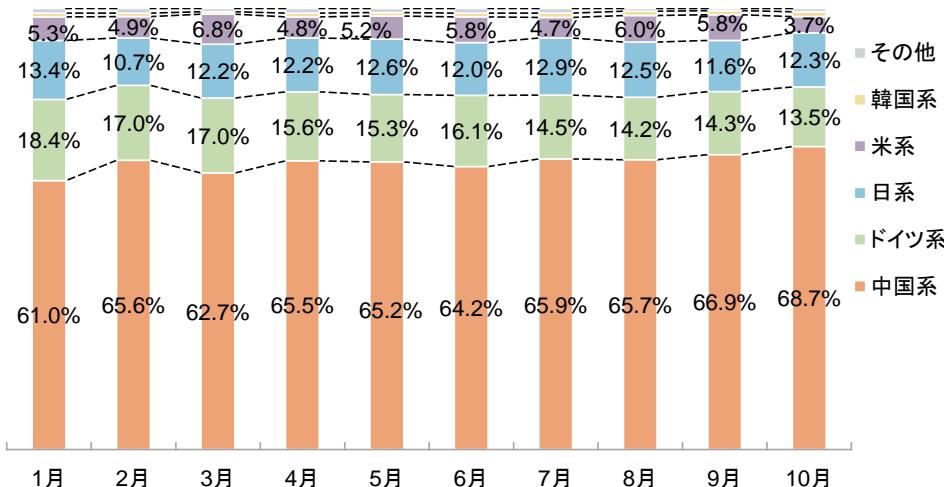
- 2025年10月の小売台数構成比では中資系が前月比1.8pt拡大の68.7%。日系は小幅拡大、ドイツ系、米系はともに縮小

### 乗用車メーカー国内小売台数Top10

No.	メーカー	2024.10 (万台)	2025.10 (万台)		
			YoY	市場シェア	
1	BYD	43.12	29.59	-31.4%	13.2%
2	吉利汽車	19.41	26.55	36.8%	11.8%
3	一汽VW	14.15	13.60	-3.9%	6.0%
4	長安汽車	12.92	13.22	2.3%	5.9%
5	奇瑞汽車	14.44	13.01	-9.9%	5.8%
6	上汽GM五菱	9.59	10.80	12.6%	4.8%
7	上汽VW	12.00	9.25	-22.9%	4.1%
8	長城汽車	6.38	7.71	20.9%	3.4%
9	広汽トヨタ	7.89	7.16	-9.2%	3.2%
10	一汽トヨタ	7.59	7.13	-6.0%	3.2%
Top10 合計		147.47	138.01	-6.4%	61.4%

出所:中国汽車流通協会よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザリーパート作成

### 資本別小売市場シェア(2025年)



No.	メーカー	2024.1-10 (万台)	2025.1-10 (万台)		
			YoY	市場シェア	
1	BYD	289.90	-2.1%	14.7%	
2	吉利汽車	137.05	56.2%	11.1%	
3	一汽VW	130.12	-3.9%	6.5%	
4	長安汽車	106.78	10.9%	6.2%	
5	奇瑞汽車	97.82	13.8%	5.8%	
6	上汽VW	92.64	-5.1%	4.6%	
7	上汽GM五菱	61.43	13.9%	3.6%	
8	一汽トヨタ	61.13	7.5%	3.4%	
9	広汽トヨタ	63.40	0.8%	3.3%	
10	長城汽車	49.82	15.6%	3.0%	
Top10 合計		1090.11	1197.78	9.9%	62.2%

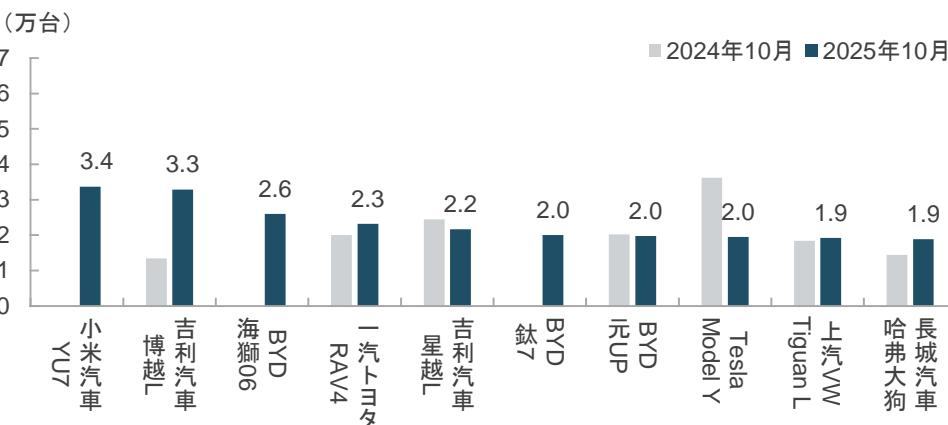
# 1.2 乗用車②

【中国自動車業界レポート(2025年10月)】

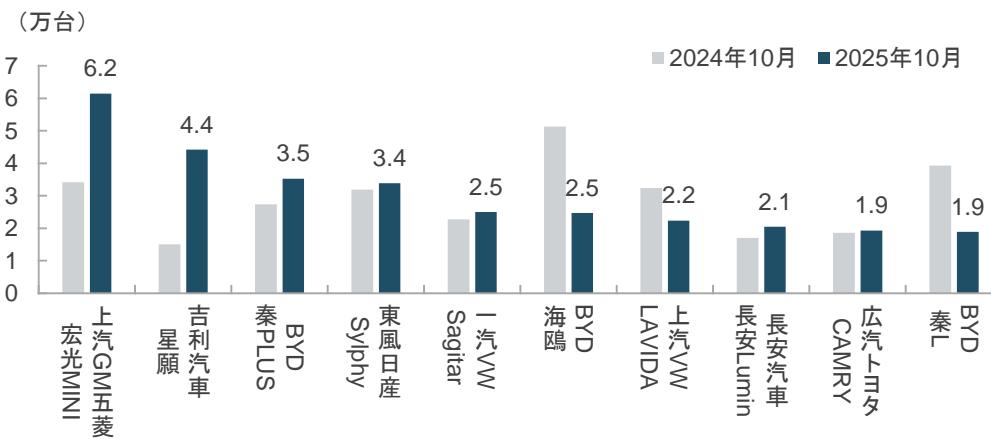
## ■ 乗用車モデル別Top10:

- セダン:** 10月のセダン小売台数は前年同月比0.6%減、前月比横ばいの102.1万台。Top10のうちNEVは6モデル(BYDは3モデル)、五菱宏光MINI EVが引き続きトップ。セダン総販売台数CR10は29.9%
- SUV:** 10月のSUV小売台数は前年同月比0.4%増、前月比1.0%増の114.2万台。小米YU7が初のトップ、BYD鈴は発売わずか2ヵ月でTop10入り。SUV総販売台数CR10は20.6%
- MPV:** 10月、長城魏牌高山が初のMPVトップ。トヨタSIENNAとGRANVIAがすぐあとに続く。騰勢D9は5位に下がった。MPV総販売台数CR10は61.5%

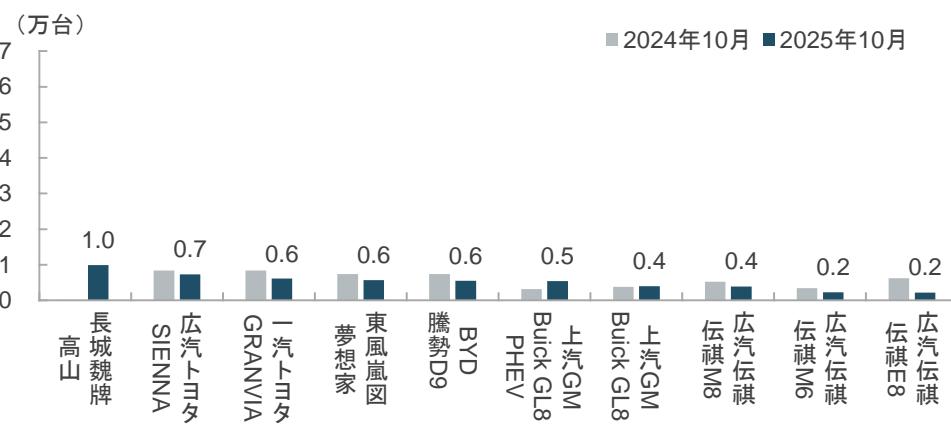
## SUV小売台数Top10(2025年10月)



## セダン小売台数Top10(2025年10月)



## MPV小売台数Top10(2025年10月)



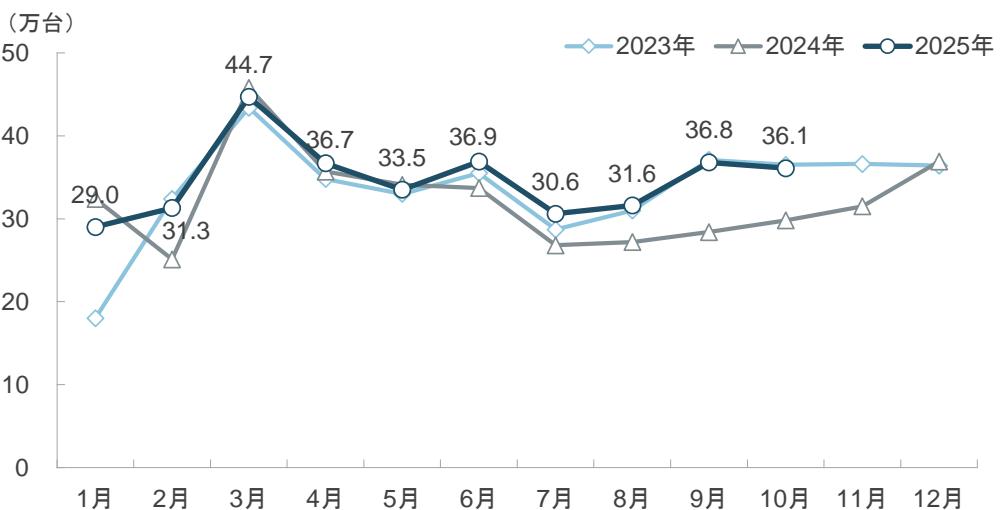
出所: 中国自動車流通協会よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザリー部作成

# 1.3 商用車

【中国自動車業界レポート(2025年10月)】

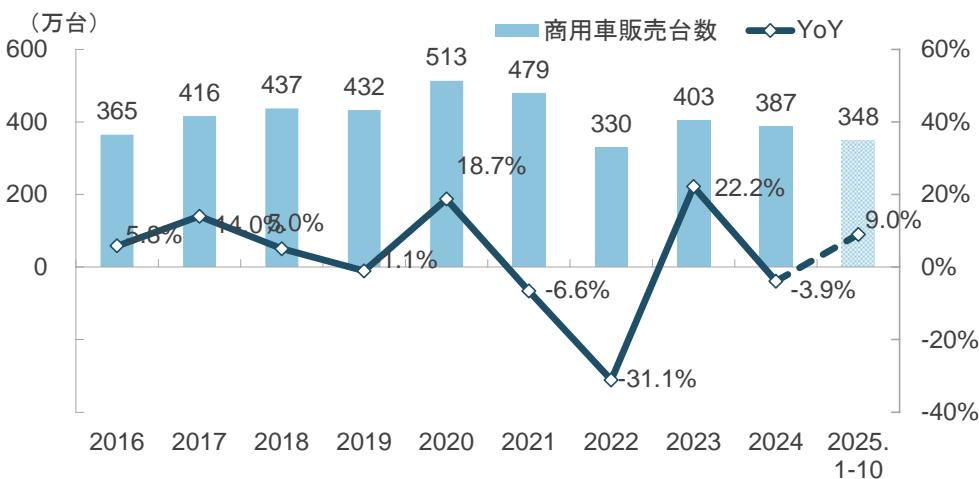
- 商用車販売台数:** 2025年10月の商用車販売台数は前年同月比21%増、前月比1.9%減の36.1万台。うちNEV商用車は8.8万台。輸出は前年同月比23.5%増の9.4万台
  - 2025年1-10月、商用車販売台数は前年同期比9%増の347.9万台、うちNEV商用車は同60%以上増の71.9万台。輸出は同11.6%増の84.3万台
- タイプ別:** 1-10月の販売台数では小型貨物車両が前年同期比5.7%増の146.4万台、販売構成比の47.3%を占める。次いで大型貨物車両販売台数が同24%増の92.9万台、小型バスは同14.7%増の36.3万台

## 商用車月次販売台数(2023-2025)

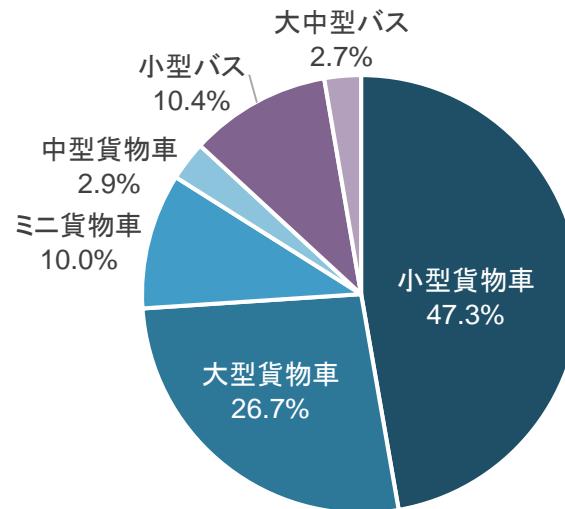


出所:中国汽車工業協会よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザリー部作成

## 商用車販売台数(2016-2025)



## 商用車タイプ別構成比(2025.1-10)

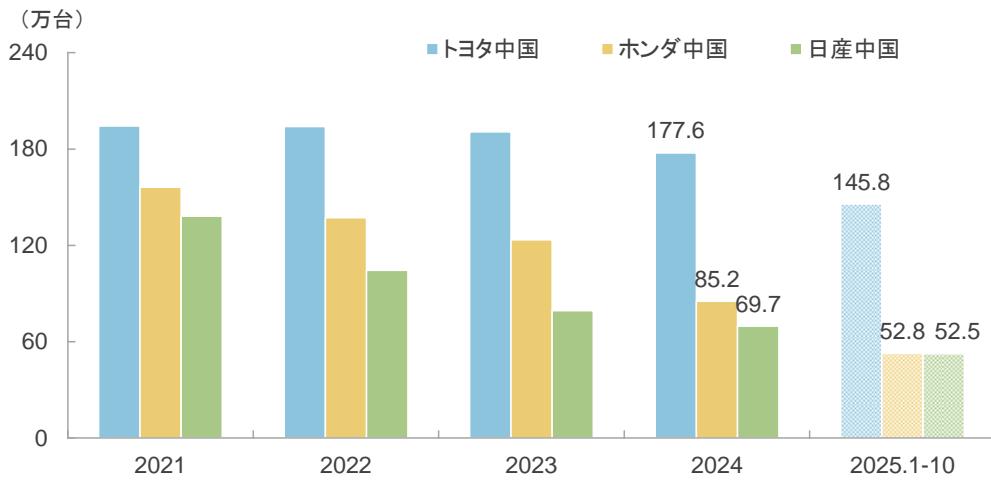


# 1.4 日系三社

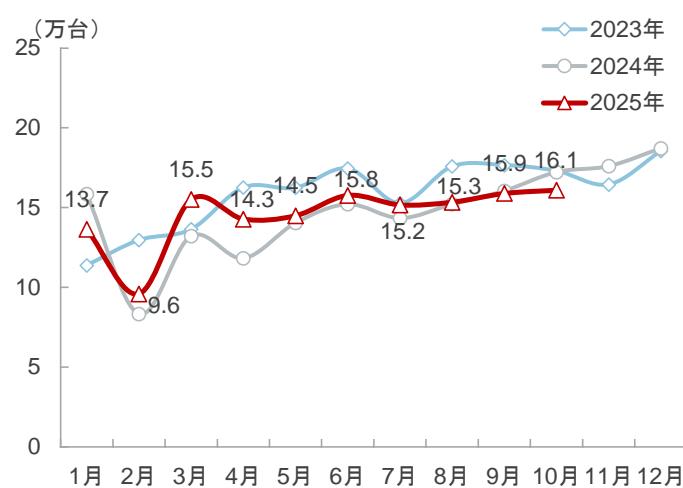
【中国自動車業界レポート(2025年10月)】

- **日系三社**: 10月、日系3社のうち前年同月比プラスは日産のみ
- トヨタ中国: 10月の販売台数は前年同月比6.6%減、前月比1.3%増の16.09万台。今月は「bZ3X」の販売台数が1万台を突破。**2025年1-10月のトヨタ中国累計販売台数は前年同期比3.2%増の145.77万台**
- ホンダ中国: 10月の販売台数は前年同月比20.6%減、前月比9.9%増の5.99万台。**2025年1-10月のホンダ中国累計販売台数は前年同期比20.5%減の52.77万台**
- 日産中国: 10月の販売台数は前年同月比10.9%増、前月比10.3%増の6.79万台。日産中国は5ヶ月連続で前年同月比プラスとなった。東風日産の販売台数は6.28万台、鄭州日産は0.51万台。**2025年1-10月の日産中国累計販売台数は前年同期比6.0%減の52.49万台**

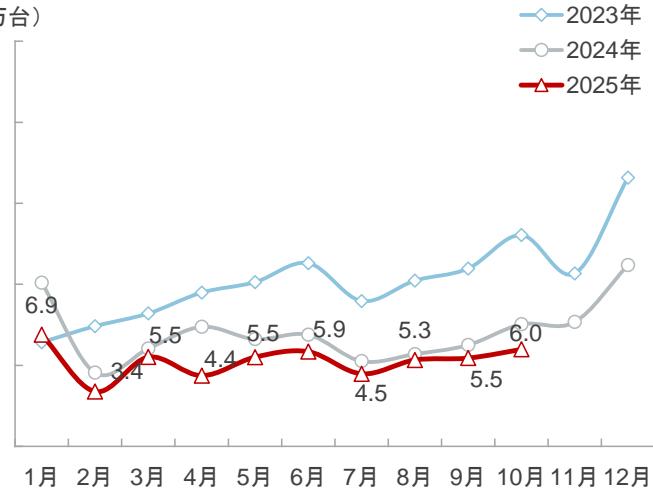
## 日系三社販売台数(2021-2025年)



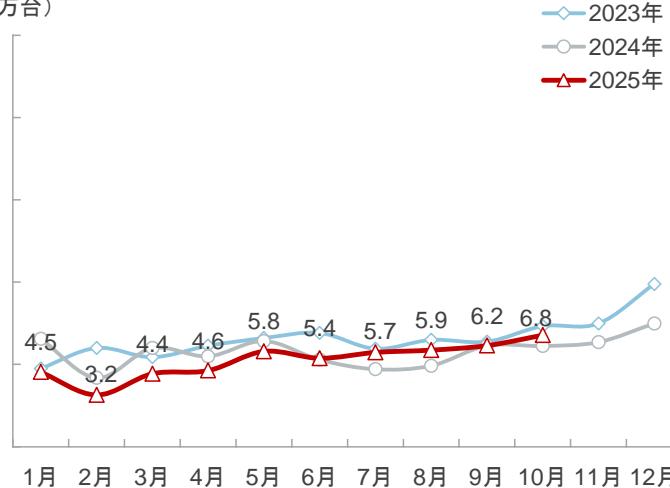
### TOYOTA



### HONDA



### NISSAN



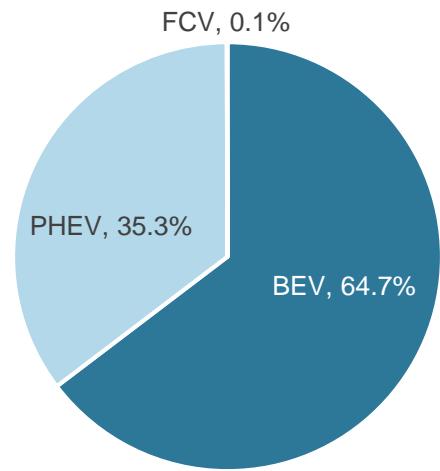
出所: 各社ウェブサイトよりみずほ銀行(中国)中国アドバイザリーパート作成

# 1.5 NEV①

【中国自動車業界レポート(2025年10月)】

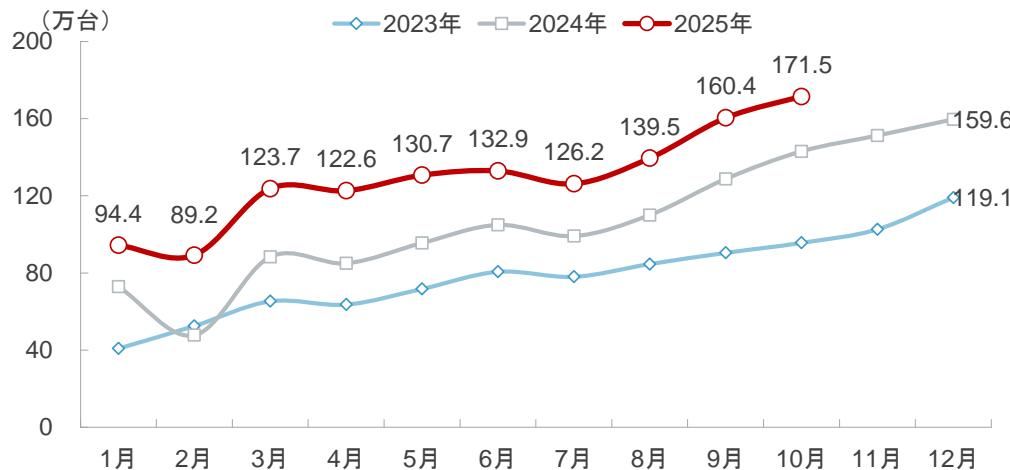
- 生産販売台数:** 2025年10月、中国NEV生産台数は前年同月比21.1%増の177.2万台、販売台数は同20%増の171.5万台。1-10月の累計生産台数は前年同期比33.1%増の1,301.5万台、販売台数は同32.7%増の1,294.3万台。NEV購入税全免終了前の駆け込みにより販売台数は過去最高を記録
- 動力別構成比:** 10月の販売台数のうちEVは前年同月比31.7%増の110.9万台、NEV総販売台数の64.7%。PHEVは同3.0%増の60.5万台、構成比は35.3%
- NEV率の上昇:** 10月の新車販売台数NEV比率は前月比1.9pt上昇の51.6%と初めて50%を上回った。2025年1-10月のNEV比率は46.7%

NEV販売台数動力別構成比(2025年10月)

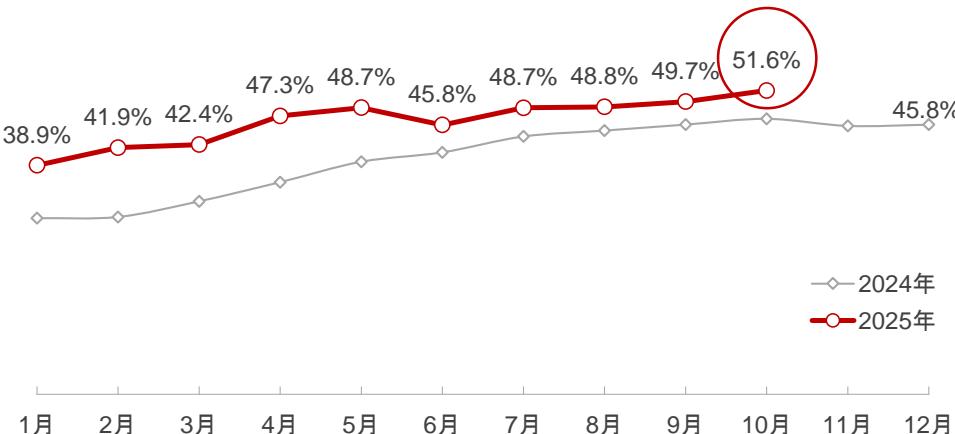


出所:中国汽車工業協会よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザリー部作成

中国NEV月次販売台数(2023-2025)



新車販売台数NEV比率(2024-2025)

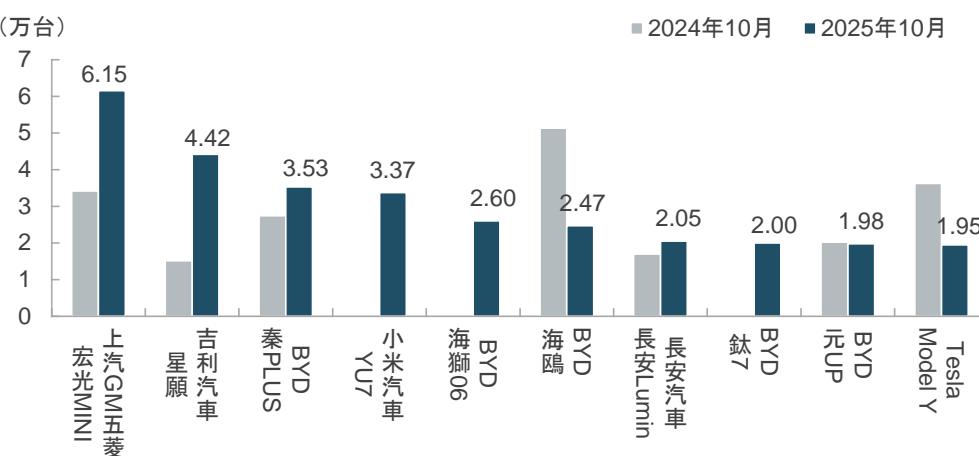


# 1.5 NEV②

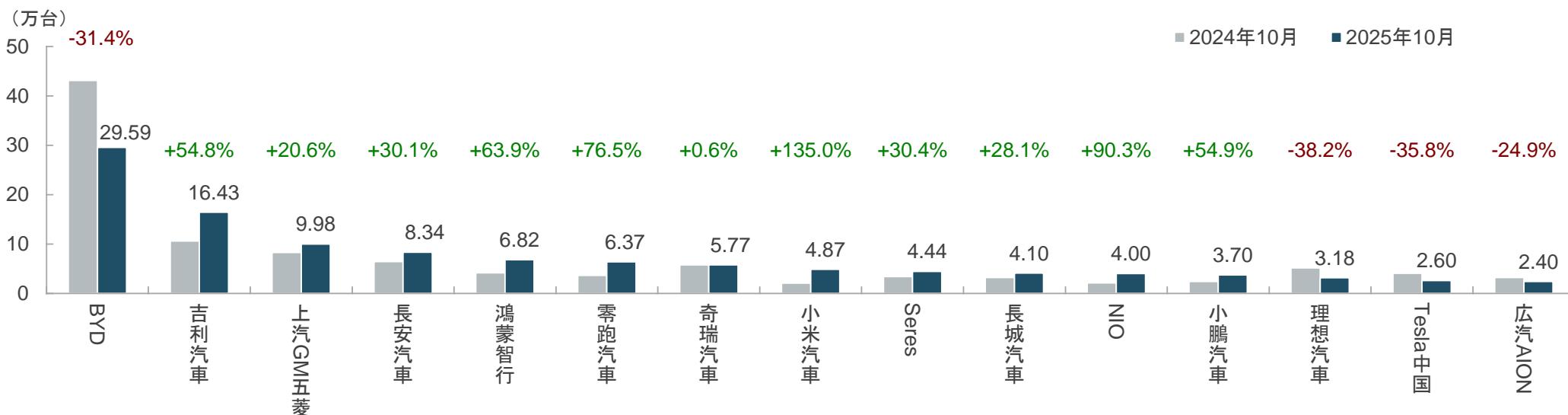
【中国自動車業界レポート(2025年10月)】

- **人気モデル:** 2025年10月、NEV乗用車モデル別Top10のうちBYDが半数を占めた(秦PLUS、海獅、海鷗、鈦7、元UP)。他、五菱宏光MINI、吉利星願、小米YU7、長安Lumin、TeslaModel Y。Top10の合計販売台数は30.52万台
- **メーカー国内小売台数:** 10月、NEV乗用車メーカー15社の国内小売台数は計112.56万台、NEV総小売台数の87.9%
  - **前年同月比マイナス:** BYD(▲31.4%)、理想汽車(▲ 38.2%)、Tesla中国(▲ 35.8%)、広汽AION(▲ 24.9%)
  - **前年同月比プラス:** 小米汽車(+135.0%)、NIO(+90.3%)、零跑汽車(+76.5%)、鴻蒙智行(+63.9%)等

## NEV乗用車販売台数Top10(2025年10月)



## NEV乗用車企業国内小売台数(2025年10月)



出所: 中国汽车流通协会よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザリー部作成

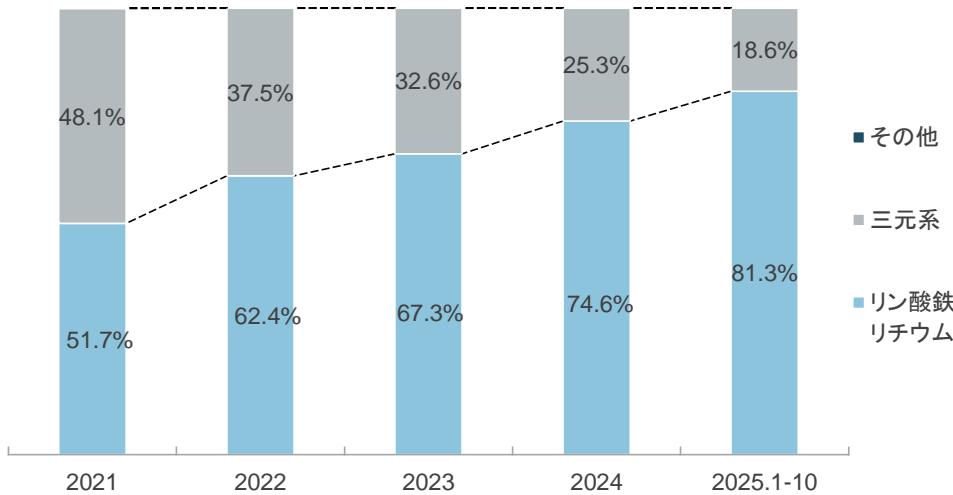
# 1.5 NEV③

【中国自動車業界レポート(2025年10月)】

■ **搭載量**: 2025年10月、中国国内動力電池搭載量は前年同月比42.1%増、前月比10.7%増の84.1GWh。1-10月累計は前年同期比42.4%増の578.0GWh

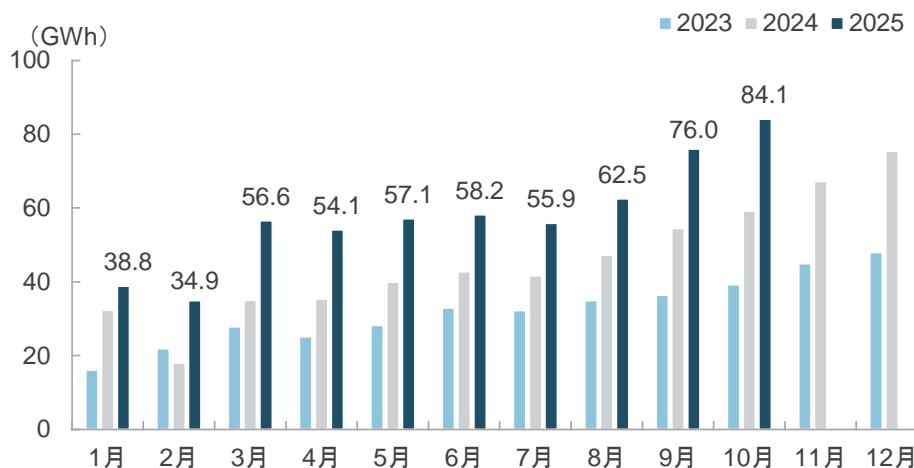
- **構成比**: 1-10月、リン酸鉄リチウム電池の搭載量は前年同期比59.7%増の470.2GWh、総搭載量の81.3%。三元系電池は同3.0%減の107.7GWh、総搭載量の18.6%
- **企業別シェア**: 1-10月は計51社の動力電池メーカー製電池が搭載された。うちTop10社の搭載量は計545.7GWh、CR10は94.4%。うちCATL、BYDのシェアは2024年比やや縮小、第2グループの中創新航、国軒高科、億緯鋰能は小幅拡大

## 動力電池月次搭載量構成比(2021-2025年)

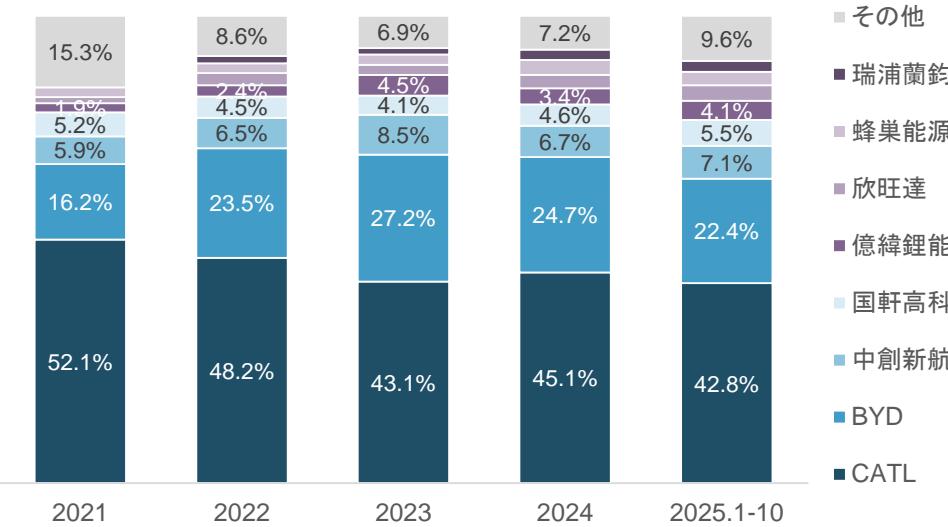


出所:中国自動車動力電池産業創新聯盟よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザリー部作成

## 動力電池月次搭載量(2023-2025年)



## 動力電池搭載量メーカー別シェア(2021-2025年)



# 1.6 輸出

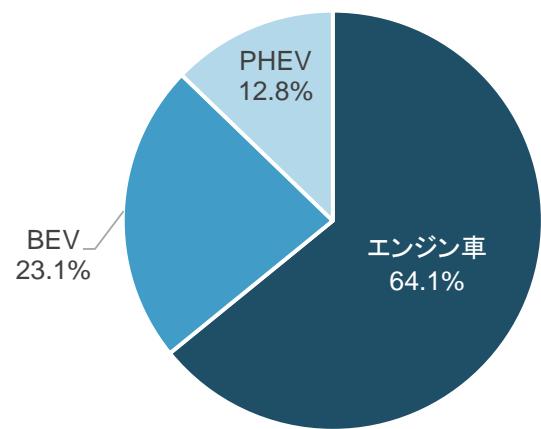
【中国自動車業界レポート(2025年10月)】

■ **輸出台数**: 中国自動車輸出台数は3カ月連続で60万台以上を維持。10月の中国自動車輸出台数は前年同月比22.9%増、前月比2.1%増の66.6万台。1-10月累計は前年同期比15.7%増の561.6万台

- ICE: 10月の輸出台数は前年同月比0.9%減の40.9万台。1-10月累計は前年同期比5.1%減の360.1万台。総輸出台数の64.1%
- NEV: 10月の輸出台数は前年同月比99.9%増の25.6万台。1-10月累計は前年同期比90.4%増の201.4万台。うちEVは同55%増の129.6万台、PHEVは同3.2倍の71.8万台

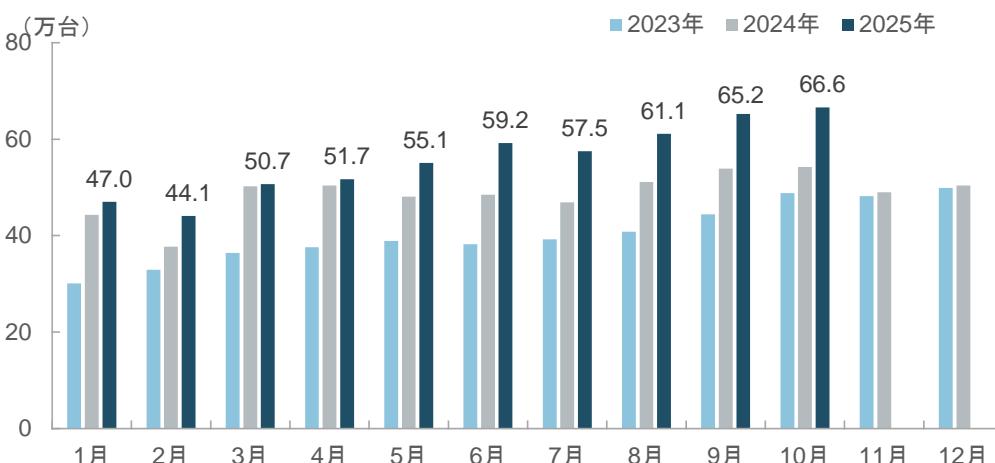
■ **輸出台数Top10社**: 1-10月の輸出台数Top10社では、奇瑞汽車が106.3万台でトップ。伸び幅が最大なのは依然BYDで同137.7%増の78.9万台

## 動力別輸出台数構成比(2025年1-10月)

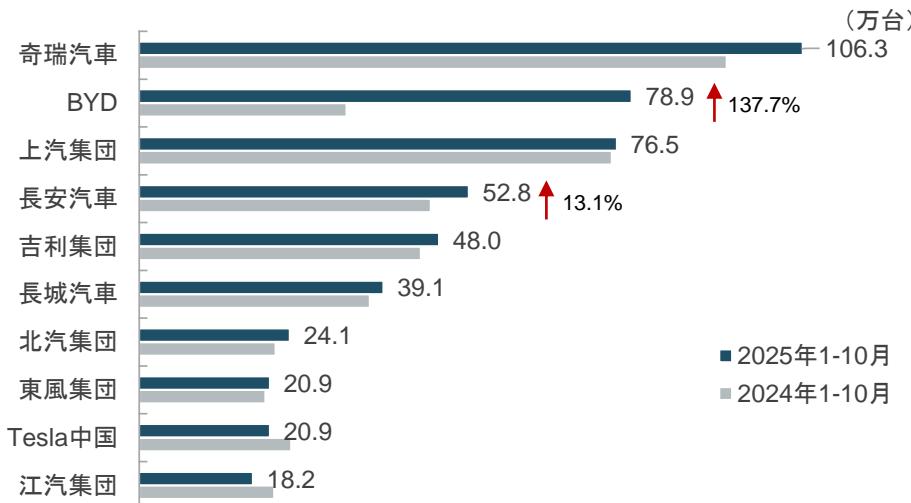


出所: 中国汽车工业协会よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザリー部作成

## 中国自動車月次輸出台数(2023-2025年)



## 輸出台数Top10社(2025年1-10月)

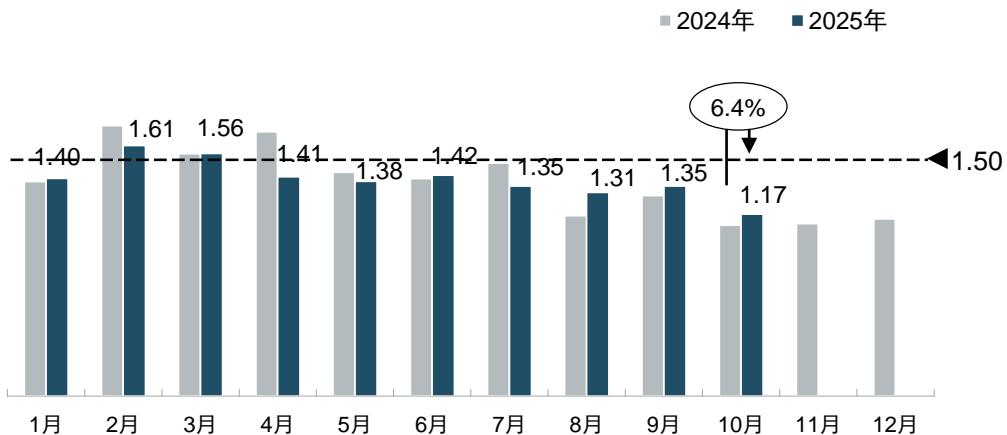


## 2 在庫

【中国自動車業界レポート(2025年10月)】

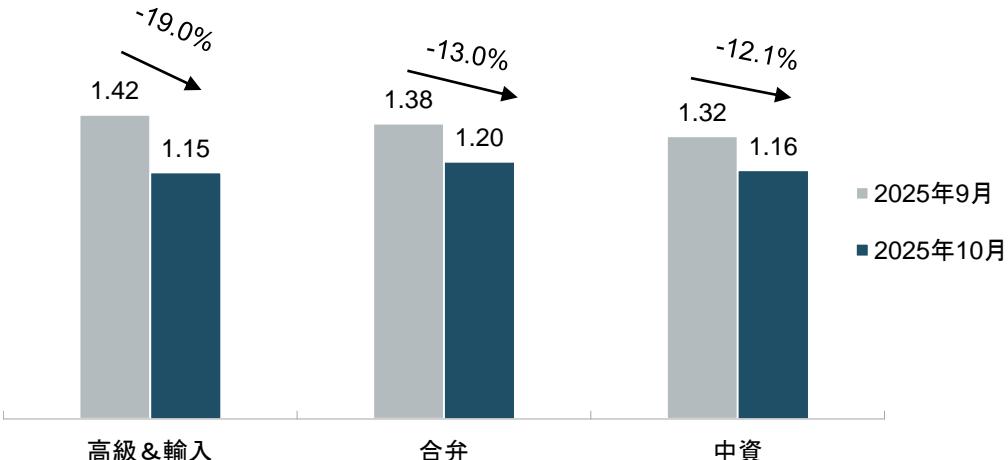
- 在庫**: 2025年10月の自動車ディーラー在庫係数は前年同期比6.4%上昇、前月比13.3%低下の1.17、在庫レベルは警戒ラインを下回っている。「金の9月銀の10月」の販売シーズンの中、販売は好調が続いている。中国汽車流通協会乗聯分会の推算では10月末時点でのディーラー在庫総数は280万台前後
- ブランド別**: 10月、高級&輸入車の在庫係数は前月比19.0%低下の1.15、合弁系は同13.0%低下の1.20、中資系は同12.1%低下の1.16
- 在庫深度**: 10月、主要ブランドのうち在庫が2ヵ月超となつたのは一汽紅旗と広汽伝祺

### 自動車ディーラー在庫係数(2024-2025年)

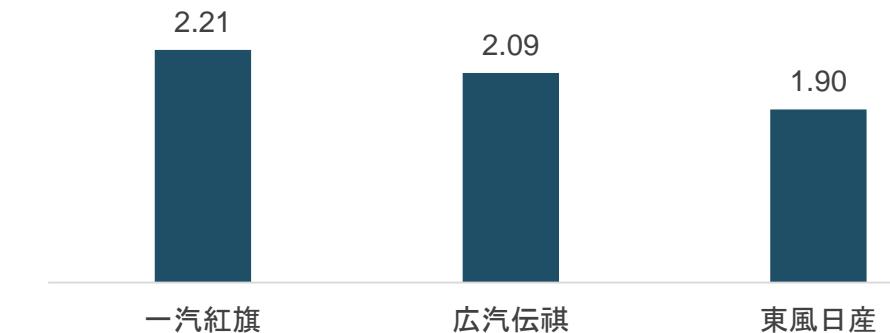


出所: 中国自動車流通協会よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザリーパート作成

### ブランド別在庫係数(2025.9~10)



### 在庫係数が比較的大きいブランド(2025年10月)



### 3 新発売のモデル（10月9日-11月9日）

【中国自動車業界レポート(2025年10月)】

No.	発売日	モデル名	販売価格(万元)	タイプ	排気量	航続距離(CLTC BEV)	メーカー	セールスポイント
1	10.16	羿馳05S	9.78-16.98	SUV	-	500-610km	江鈴新エネルギー	・19"ブレードホイール、14.6"フローティングディスプレイ、L2運転支援、1.68m <sup>2</sup> パノラマシーリング、縦9本横8本のケージ構造ボディ
2	10.19	捷途縱橫G700	32.99-42.29	SUV	2.0T	150km	奇瑞汽車	・キューブ型デザイン、ラダーフレーム構造、4モーター、800Vアーキテクチャ、Huawei乾崑ADS 4運転支援、35.4"計器一体型ディスプレイ+15.6"中央制御パネル
3	10.21	埃尚A100C	3.98-5.28	セダン	-	220km	五菱新エネルギー	・10.25"フローティングディスプレイ、HUAWEI HiCar、スマート音声アシスタント、遠隔制御、パノラマ映像
4	10.28	騰勢N8L	29.98-32.98	SUV	2.0T	230km	BYD	・CTB電池ボディ一体型、「易三方技術」、DiPilot 300運転支援、17.3"エンタメパネル、20台スピーカーによるDevialetステレオ
5	10.28	smart精靈5号PHEV	18.99-23.99	SUV	1.5T	120-252km	智馬達汽車	・雷神ハイブリッド2.0システム、10.3"計器パネル、13"中央制御パネル、Nappa本革シート、smart Pilot Assist 3.0
6	10.29	EO 翌歐	11.98-18.48	SUV	-	540-722km	北京現代	・720° 鏡のような高剛性ボディ、27"4K大型ディスプレイ、Qualcomm 8295、V2L、540°パノラマ映像
7	10.30	銀河星耀6	7.48-10.58	セダン	1.5L	60-125km	吉利汽車	・「銀河星耀」グリル、雷神AIハイブリッド2.0技術、14.6"中央制御パネル、Flyme Autoシステム、神盾電池、L2運転支援
8	10.30	風雲T11	18.99-24.99	SUV	1.5T	220km	奇瑞汽車	・エアバッグ11個を標準装備、3列空間、デュアルIMAXシネマシステム、「獵鷹700」スマート運転システム、DeepSeek
9	11.5	ベンツCLA BEV	24.90-29.99	セダン	-	866km	北京ベンツ	・800V高圧P/F、14"中央制御パネル、MB.DRIVEスマートコックピットシステム、エアバッグ11個を標準装備、Momenta運転支援
10	11.9	長安啓源A06	10.99-14.99	セダン	-	510-630km	長安汽車	・フレームレスドア、800V SiC P/F、アルミ製フロントダブルウイッシュボーン+リア5リンク独立サスペンション、地平線征程6Mチップ
11	11.9	AION UT super	8.99	セダン	-	500km	広汽AION	・チョコレート型交換式バッテリー、540°パノラマ映像、Huaweiクラウド車載システム、AI音声インターフェース、バック時監視システム

出所: 新浪汽車よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザリー部作成

## 4 業界動向(10月9日-11月9日)

【中国自動車業界レポート(2025年10月)】

No.	企業	動向
1	Polestar	<ul style="list-style-type: none"><li>10月13日、Polestarは中国最後の直営店舗を閉鎖。中国市場におけるすべての販売をオンラインへ移行</li></ul>
2	Scania	<ul style="list-style-type: none"><li>10月15日、スウェーデンの大型商用車メーカーScaniaの如皋工場が開業。中国で初めて独資で設立された商用車工場となる</li></ul>
3	広汽集団	<ul style="list-style-type: none"><li>10月16日、啓境汽車CEOの劉嘉銘氏は、広汽とHuaweiの共同ブランド「启境」の初モデルの設計が完了、プロジェクトは量産化に向けた最終段階に入っていると述べた</li><li>10月23日、京東集団は広汽集団及びCATLと共同で打ち出す「国民車」について「埃安UT super」を正式名称とすると発表</li></ul>
4	小馬智行	<ul style="list-style-type: none"><li>10月17日、小馬智行とStellantisグループは、欧州市場向けL4自動運転車を共同開発することで合意</li><li>11月6日、小馬智行は香港証券取引所メインボードに上場。「米国株+香港株」のダブル上場を果たした</li></ul>
5	ホンダ中国	<ul style="list-style-type: none"><li>10月22日、ホンダ中国と東風集団は水素燃料電池商用車の実証実験の実施について協力する。双方は合弁で「武漢東本儲運有限公司」を設立、まずは武漢市で実証実験を展開。その後、広州や上海でも展開する計画</li></ul>
6	零跑汽車	<ul style="list-style-type: none"><li>10月24日、米国ビジュアルゲームソフトウェア企業Unityの中国拠点であるUnity中国と零跑汽車は次世代型スマートコックピットのインターフェース体験のイノベーションについて協力することを発表</li></ul>
7	長安汽車	<ul style="list-style-type: none"><li>10月30日、長安汽車とドローンメーカーである億航智能は合弁で「億安智航科技(重慶)有限公司」を設立、スマート無人航空機の製造、販売を行う</li></ul>
8	元戎啓行	<ul style="list-style-type: none"><li>10月31日、自動運転の元戎啓行は無錫市政府とテスト及びR&amp;D拠点の建設について署名、ロボタクシー事業の推進を加速する</li></ul>
9	BMW	<ul style="list-style-type: none"><li>10月31日、華晨BMWのパワートレイン工場及び第6世代動力電池センターの地熱供給暖房プロジェクトが運用開始。カーボンフットプリントを根源から低減する</li></ul>
10	LG化学	<ul style="list-style-type: none"><li>11月4日、中国石化とLG化学はナトリウムイオン電池の重要な材料の共同開発についての合意書に署名</li></ul>
11	Seres	<ul style="list-style-type: none"><li>11月5日、Seresは香港証券取引所メインボードに上場。高級NEVメーカーとして初めて「本土+香港」の2か所上場を果たした。今回の調達額は約140.16億HKドル</li></ul>

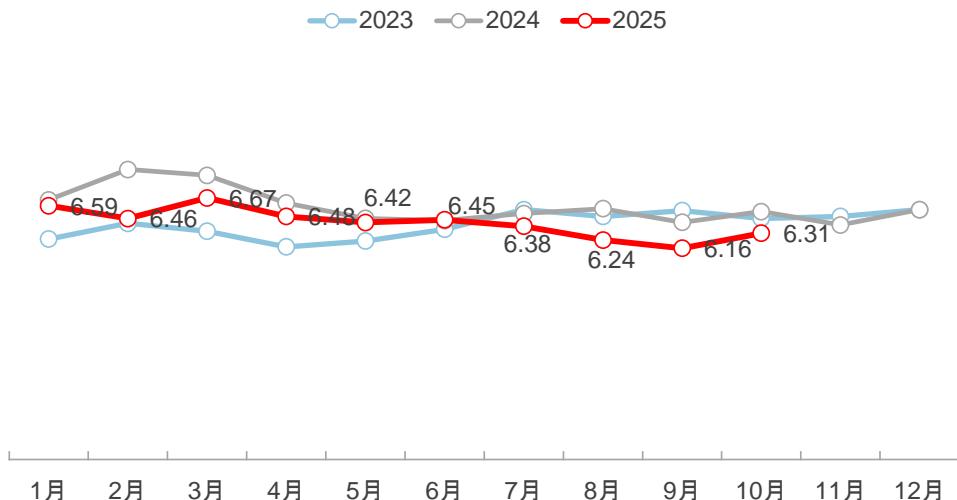
出所:新浪汽車よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザリー部作成

## 5 中古車

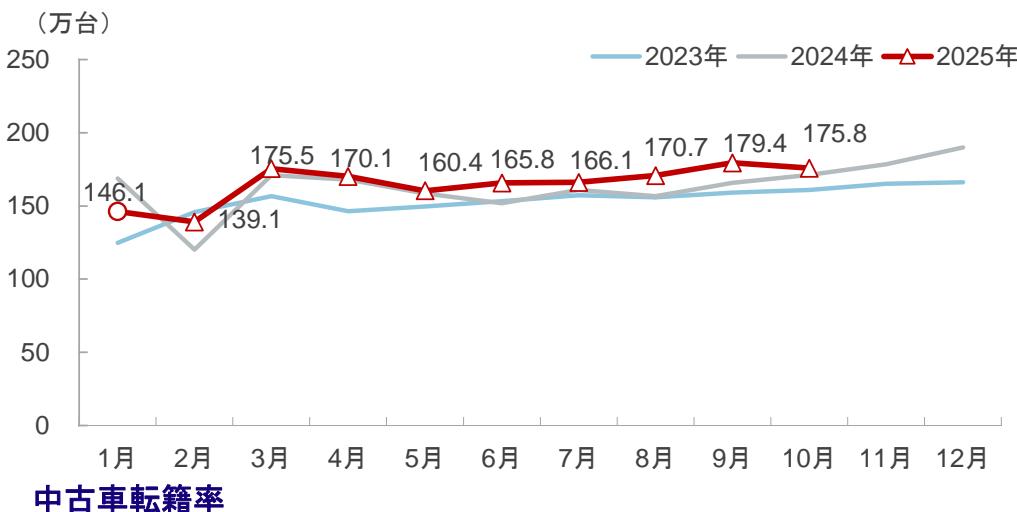
【中国自動車業界レポート(2025年10月)】

- 取引台数**: 10月の中古車取引台数は前年同月比2.71%増、前月比2.03%減の175.79万台、取引額は1,109.54億元。国慶節休暇での販売が好調となった
  - 2025年1-10月の累計取引台数は前年同期比3.53%増の1,649.07万台、累計取引額は1兆571.81億元
- 平均価格**: 10月は穏やかな価格の動きとなった。新車販売における「反内巻」対策が進み、自動車メーカーも無秩序な値下げから、「価格据え置きでのオプション追加」にシフト、この動きにより中古車の平均販売価格も6.31万元まで回復
- エリア外への流通状況**: 10月の中古車転籍台数は58.19万台、転籍率は前年同月比3.5pt上昇の33.1%

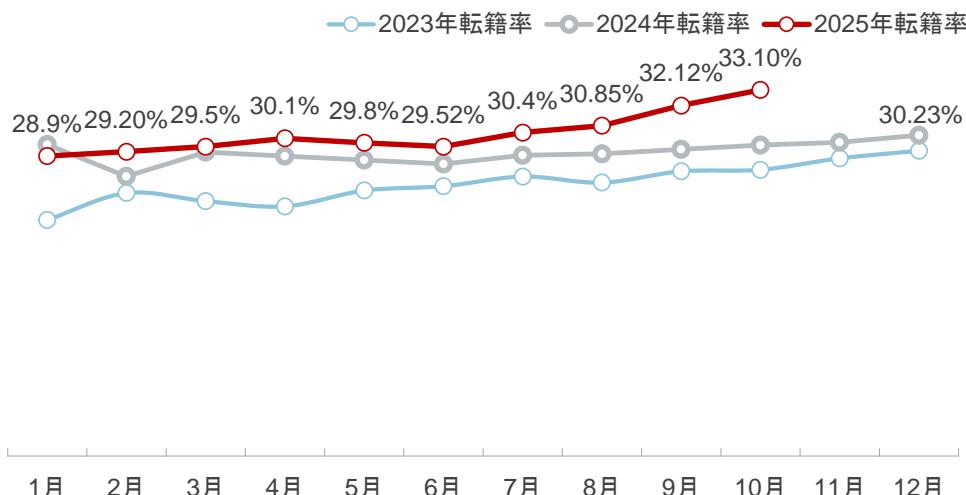
### 中古車取引平均価格



### 中古車月次取引台数



### 中古車転籍率

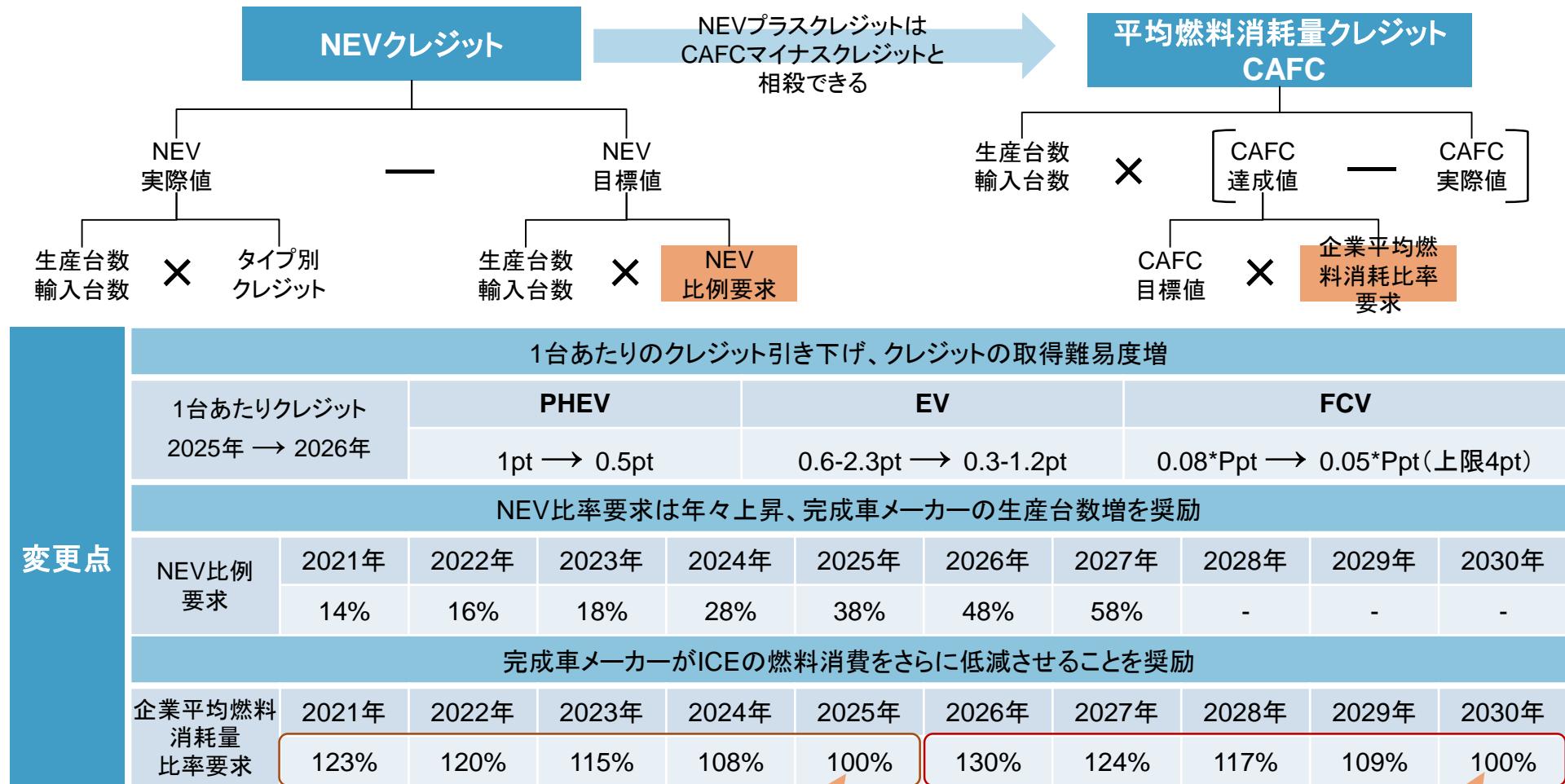


出所: 中国汽车流通协会よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザリーパート作成

# 6 ダブルクレジット政策

【中国自動車業界レポート(2025年10月)】

- **ダブルクレジット政策の調整:**2025年8月、工業信息化部は『乗用車燃料消費量評価方法及び指標』(GB 27999-2025)を公布、企業平均燃料消費量の計算方法やタイプ別燃料消費量目標値などを調整した。2025年11月、工業信息化部は『2026-2027年度乗用車企業平均燃料消費量とNEVクレジット管理関連事項の通達』を公布、2026、2027年のNEVクレジット比率要求を設定、タイプ毎のクレジット標準を引き下げた。



# 7 エンボディドAI

【中国自動車業界レポート(2025年10月)】

- 完成車メーカーが続々とエンボディドAIへ参入：スマートNEV時代において、完成車メーカーは電動化とスマート化の技術応用の面で実践経験を積み上げている。また大規模製造業としてエンボディドAIの実用シーンを豊富に有している。ここ2年で上汽、広汽、BYD、小鵬汽車等10社を超える完成車メーカーが、自社開発、技術協力、戦略投資などの方法で、スマートロボット領域へと事業の拡大を図っている
  - 2025年11月、小鵬汽車は次世代ヒューマノイド「IRON」を発表。まず博物館や4S店、ショッピングモールなどでサービスを提供する計画

No.	メーカー	展開方法	現在	計画進展状況
1	Tesla	自社開発	・OptimusエンボディドAIを開発。2025年に小規模生産、2026年には量産を計画	・今後、大規模に普及すればOptimusのコストは2-3万米ドルまで下がる見通し
2	小鵬汽車	自社開発	・エンボディドAI「Iron」を発表。工場でのトレーニングに導入済み	・2025年、L3初級レベルの量産化を実現し、工場やオフライン店舗などで展開する計画
3	広汽集団	自社開発	・第3世代エンボディドAI「GoMate」を発表、セキュリティ、リハビリ、自動車アフターマーケットなどの領域で応用	・2025年、自社開発部品を量産、2026年には完成機の小ロット生産から段階的に量産化を進める計画
4	理想汽車	自社開発	・李想CEOは、エンボディドAIは100%作れると述べ、AIの恩恵が各家庭に行き届くよう推進する	・現在は研究開発段階で、具体的な量産化スケジュールは無い
5	長安汽車	自社開発	・エンボディドAIのR&Dプロジェクトのサプライヤーを公開募集。エンボディドAI領域に500億元超を投資する計画	・2027年までにエンボディドAI製品を発表し、空飛ぶ車の研究開発も進める。2028年には人形型自動車ロボットを量産する
6	奇瑞汽車	自社開発	・AI企業「Aimoga」とエンボディドAI「Mornine」を共同開発	・マレーシアの4S店ではヒューマノイドが販売アシスタントを務めている
7	上汽集団	投資	・智元機器人のA3ラウンド戦略投資に参加。ロボットメーカーへの投資を拡大している	・エンボディドAI領域へ投資。自社開発の計画は未定
8	北汽集団	投資	・北汽産投はロボットメーカー2社（「銀河通用」と「帕西尼感知」）に投資	・エンボディドAI領域へ投資。自社開発の計画は未定
9	BYD	自社開発+投資	・智元機器人に投資。同時に自社の開発力を強化、エンボディドAIのR&Dチーム人員を募集	・現在、研究開発人材の募集段階。量産化などのスケジュールは未定
10	Seres	自社開発	・重慶市財政局の支配会社と合弁で「重慶賽力斯鳳凰智創科技有限公司」を設立	・「ROBOREX」の商標登録を申請。ロボット関連の人材を募集中。2025年末に量産計画
11	東風汽車	自社開発	・「エンボディドAI体」のコンセプトを打ち出し、自動車エンボディドAI体アーキテクチャを発表	・現在は研究開発段階で、量産化などのスケジュールは未定

出所：国元証券よりみずほ銀行（中国）中国アドバイザリー部作成

## みずほ銀行(中国) 中国アドバイザリーパート

担当 張 (中) long.zhang@mizuho-cb.com

担当 藤原 (日) shiho.fujiwara@mizuho-cb.com

担当 石田 (中/日) masashi.ishida@mizuho-cb.com

Copyright © 2025 Mizuho Bank (China) , Ltd.

1. 本資料は法律上・会計上・税務上の助言を目的とするものではありません。本資料中に記載された諸条件及び分析は仮定に基づいており、情報及び分析結果の確実性或いは完全性を表明するものではありません。また、当行との取引においてご開示頂く情報、鑑定評価、各種機関の見解、また政策法規・金融環境等の変化によっては、本資料に記載の仮定やスキームと乖離が生じ、提示した効果が得られない可能性があります。本資料については、そのリスクを充分ご理解の上、貴社ご自身の判断によりご利用下さい。当行は本資料に起因して発生したいかなる損害について、その内容如何にかかわらず、一切責任を負いません。
2. 本資料中に記載された企業情報は、公開情報及び第三社機関から取得した情報に基づいて作成しており、当行が顧客との取引において知りうる機密事項や非公開情報等は一切含まれておりません。
3. 本資料中に記載された情報は、当行が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。また、引用された出所元の資料及び文言に含まれる、または解釈される可能性のある意見や論評は、記載された出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。
4. 本資料の著作権は原則として当行に帰属します。本資料については貴社内部の利用に限定され、いかなる目的であれ、いかなる方法においても、無断で本資料の一部または全てを、第三社へ開示、または複写・複製・引用・転載・翻訳・貸与する等の行為について固く禁じます。